

# ジャーナリスト

日本ジャーナリスト会議 (JCJ)  
〒101-0051 千代田区神田神保町1-18-1 千石屋ビル402号  
電話 03-3291-6475 FAX 03-3291-6478  
メールアドレス: jcj@tky.3web.ne.jp http://www.jcj.gr.jp  
年間購読料3,000円(送料込み) 振替・00190-2-76501



THE JOURNALIST

2015.8.25

## JCJ 8月集会

# 「アベ政治」に一撃



JCJ 賞贈賞式で講評する諫山修選考委員  
8月集会の撮影は河合良一

8月15日、飯田橋の東京しごとセンターで、JCJ 8月集会が開かれた。JCJ 賞が贈賞されるこの集会、今年はTB Sニュース23アンカーの岸井成格氏が基調講演した。前日14日には安倍首相の戦後70年談話が発せられたが、開会挨拶で中村梧郎代表委員は、首相談話

は、一般論を語るだけで自分が何をするか語っていないと批判した。続いて講演した岸井氏も、首相談話発表までの経緯から話を始めた。岸井氏は、首相談話が、「侵略」「事変」「戦争」と言葉を巧みに使い分けている点を分析し、談話がどこから戦争が始まったかに言及していないことを指摘した。

「日米関係を対等の同盟関係にしなければならぬ」と考えていることを指摘、安保法制を強行する政権の意図を分析した。続いてJCJ 賞贈賞式に移った。最終候補作品を含む諫山修JCJ 賞選考委員の丁寧な講評に続き、諫山氏の他、伊藤洋子、清田義昭、酒井憲太郎、柴田鉄治の各選考委員から、JCJ 賞、JCJ 大賞の受賞者に賞状と記念品が渡された。

後半は恒例の受賞者スピーチ。TBS「サンデーモーニング」の西野哲史プロデューサー、東京新聞の金井辰樹政治部長、「牛と土」福島、3・11その後」の著者の眞並直子記者、長年のジャーナリズム実践・研究活動

急「リニア中央新幹線」を著した榎田秀樹氏、「獄中メモは問う」海道綴方教育連盟事件」を連載した北海道新聞の佐竹直子記者、長年のジャーナリズム実践・研究活動

でJCJ 特別賞を受賞した松田浩氏、JCJ 大賞を受賞した琉球新報の元副報道本部長がそれぞれスピーチした。参加者は190人。

辺野古の海上でボーリング調査が始まってからこの1年間、県民の非暴力による抵抗が権力が押しつぶす様子を紙面に残してきた。運動部や文化部、小中学生の新聞をつくるNIE推進室の記者からも応援で現場に出ている。作家の百田尚樹氏が沖縄の2紙をつぶせと発言するなどの報道圧力問題があった。その時、少年野球の保護者会長をして

### 基調講演

## 米国に恩を売りたい首相 米側の「本音」を見すえた報道を

安倍首相の戦後70年談話は、ぎりぎり保守派を納得させる範囲で、保守派の言いたいことを全部言っている。侵略はむしろ西欧列強がやったこと。その危機感から日本は近代化した、ということから始まる。侵略、事変、戦争と計算して巧妙に言葉を使い分けている。安倍政権は立憲主義を理解していない内閣。96条改憲が破綻して、集団的自衛権の憲法解釈を



ニュース23アンカーの岸井成格氏

えた。これまでの歴代内閣は、9条に抵触するとしていた。政府は合憲の根拠を砂川判決と72年の政府見解とするが、その根拠は崩れている。安保法制とは、いつでもどこでも世界規模で自衛隊を出すということ。日米安保の専門家であるアーミネージは「初めて自衛隊が米軍のために命をかける約束してくれた」といっている。これがアメリカの本意だ。米

太平洋司令官も、これからは「世界中どこでも米軍と自衛隊が協力して治安維持にあたる」と発言した。だが国会でいくら追及しても政府は認めない。認めたら法案は成立しない。

安倍首相は政権の使命は第一に戦後レジームからの脱却と考えている。自民党の結党時の党是である自主憲法の制定を目指す。

再構築。日米関係はどうしても占領した国、された国という上下関係になりがちだ。安倍首相は、アメリカが弱ってきた今のうちに、アメリカに恩を売れ。そうしなければ日米は対等な関係になると考えている。

さらに「日教組教育によってゆがめられた戦後の日本人を取り戻す」として、道徳の教科化や、愛国心、日の丸・君が代の義務化などを進めている。

岸信介元首相にインタビュをしたことがある。岸が言いたいのには、太平洋戦争は侵略戦争ではない、東京裁判は勝者が敗者を裁いた不当なものだ、ということ。「満洲」については「あれはわが作品だ」と語っていた。

保守合同の時の結党資金は岸が調達した。もと

はCIAから出たもの。岸は諜報機関の人脈だ。安倍首相も戦争体制と諜報機関をどう整備するかに腐心していると思える。特定秘密保護法も、13年秋に突然出てきた。

今の安倍政権は暴走している。ジャーナリズムが権力の監視をしなければならぬ。JCJはまさにその役割を担っている。

また創価学会の動向も注目される。創価学会の婦人部は集団的自衛権を認めない。各地のデモにも学会員が出るようになった。(H)

一月月足らずの間に本土の読者が3ヶタも増えた。ライバルの沖縄タイムスと競いながら、一歩でも二歩でも報道に磨きをかけていきたい。(まとめ) M・S



発言し、行動しよう。一人ひとりがジャーナリスト。JCJ 60周年。

# 講評

締め切り5月30日まで  
に自薦、他薦、143本  
のエントリーがあった。

推薦委員会の事前審査で  
13本が予選通過した。さ  
らに6月、7月の報道活  
動を見落とすことがない  
ように、JCJ60周年に  
ふさわしい活動が続け  
てこられた人を顕彰する  
ために、3本の審査作品を  
追加。最終的に候補作り  
スト16本が決まった。

選考委員の会議で7本  
の受賞作を決めた。

新聞は6本。「原発利  
権」「真金システム」中部  
電力、関西電力の裏面史  
「独白」は朝日新聞に去年  
の7月から8月にかけて  
18回連載された。

「赤旗」は、北部方面  
隊3万8千人の隊員が、  
今日まで家族への手紙と  
して事実上の遺書を書い  
ていたことをスクープ。  
隊員たちはどんな気持ち  
で安保議論を聞いている  
だろうか。

3本目は「獄中メモは  
問う・北海道綴り方教育  
連盟事件」。  
選考委員全員が真っ先  
にJCJ賞を選んだ。

被告の一人が書いた獄  
中メモが発見されたとい  
うことを中心に、1年に  
わたって27本の連載が続  
いた。

安全保障法案の問題点  
を追及した東京新聞の報  
道は、JCJ賞を受賞し  
た。

岩波新書の『外交下キ  
ュメント歴史認識』の著  
者の服部龍二さんは47歳  
の学者。中国・韓国との  
歴代内閣の攻防を簡潔に  
まとめている。

「悪夢の超特急 リニ  
ア中央新幹線」。時速5  
00キロで走行するリニ  
ア新幹線の、南アルプス  
を貫通するトンネルの中  
で大地震が起きた時、乗  
客はどうなるかなど、恐  
ろしい話が次々出てく  
る。衝撃の大きい本だ。

「牛と土」3・11その  
後」は、読み出したら一  
気に読んだ。放射能で汚  
染された牛を殺せという  
国の命令に対し、殺すの  
は嫌だという飼主の牛  
550頭が生きている。

放送部門でJCJ賞を  
とったのはTBSの「サ  
ンデーモーニング」。87  
年に放送開始で、29年目  
に入る長寿番組。秘密保  
護法や安保法制反対の世  
論形成の力になっている  
のは間違いない。死語に  
なりつつあるリベラルの  
立ち位置が生きている番  
組だといえる。貴重な存  
在だ。

マルチジャンルの部門  
は二つ。ネット活用の  
「マガジン9」の読者は  
20万人を超える。

ラジオフォーラムの活  
動。市民運動がカンパを  
集めスポンサーになり、  
原発問題を中心とした番  
組を、国内外で放送して  
いる。

特別賞はジャーナリス  
トとしての実績でも、研  
究者としての見識でも、  
市民との連帯を求める運  
動の面でも大きな力を尽  
した。

## 各ジャンルごとに力作揃う

## エントリー143本、最終候補16本



諫山 修選考委員

と9条」は4月から始ま  
った。連載はまだ続くの  
で評価はこれからだ。  
出版は四つだ。『抵抗  
の拠点から朝日新聞「慰  
安婦報道」の核心』。昨年  
開戦前の1940年。  
特高が尋常小学校の教  
師75人を一斉に逮捕。生  
活のありのままを児童に  
書かせる「生活綴り方」  
が逮捕の理由だ。

「政権が日々打ち出す  
ニュースを後追いつるので  
はなく、論点をそしゃ  
く、反芻しながら何度で  
も報じたい」――昨年の  
JCJ大賞に続いてJC  
J賞を受けた東京新聞の  
金井辰樹政治部長はこう  
決意を語った▼次から次  
へとニュースが出てきて、  
昨日の、あるいはちよつと  
前のニュースは忘れられ  
てしまう。議論のいとま  
を与えられないまま時間  
が過ぎる。誰かが意図的  
に作るニュースもあるし、  
予想しないとき突然新し  
く出てくるニュースもあ  
る。メディアに餌を与え  
ようと権力が投げるユ  
ースもある。メディアは  
安保法案先取りの日程表  
を作っていた(11日)な  
どという国会審議さえ薄  
めてしまう▼こうなる  
と、「勝った勝ったという  
けど実は負けていた」と  
か「安全は確保している  
というが全くのウソ」な  
どというのは、またかわ  
いひのかもしれない。  
「仕掛け」は大きいほど  
見えにくくなる。メディ  
アが社会で一定の位置を  
占めている以上、出てく  
るニュースは無視できな  
い。悩ましいのだ▼「法  
案成立と引き替えに安倍  
退陣」も囁かれていて  
いう。ごまかされるわけ  
にはいかない。安倍であ  
ろうと、誰であろうと、  
戦争法案を認めるわけ  
はいかない。▼ことは憲  
法が壊され、日本が戦争  
できる国になることだ。

「風を読む」の4大コー  
ナーで28年間、続けてい  
ると説明。「情報系番組  
で、司会を関口宏一人で  
通している唯一の番組で  
す」と、ぶれない姿勢に  
誇りをにじませた。

スタジオトークが番組  
の目玉だが、西野さんは  
「コメントターの事前  
打ち合わせはやらぬ」と  
語る。その理由は「予  
定調和を避けるため」だ  
と云う。西野さんは「コ  
メンターは全員、30  
分前にスタジオに入る。  
ゆつたり語り合ってもら  
うためです」。

番組に挿入するVTR  
も、スタジオのサブキャ  
スターが生でナレーショ  
ンを読む。出演者もVTR  
に集中できる。  
リベラルなスタンスは  
視聴者の共感を呼び、存  
在感を増している。

西野さんが関口宏のメ  
ッセージを読み上げた。  
「この度の表彰、有難う  
ございます。反省を繰返  
す」

西野さんは「世の中の  
大事なことを愚直に伝え  
る姿勢に今後も変わりは  
ない」と締めくくった。

「大事なこと」を愚直に  
ぶれない姿勢に誇り

### 東京新聞

## 萎縮しないメディア 論点明示報道を進化・発展

「3・11後、貴紙は輝  
いている」という言葉を  
もらったが、確かに、オ  
ンリーワンの評価をいた  
だいていると思うことが

ある。1、2月ごろの国  
会で、メディアが萎縮す  
るといふ議論があったと  
き、与党席から「東京新  
聞はどうなのだ」という

ヤジがあった。そうか、  
政権与党からお墨付き  
をもらったな、と思っ  
た。

昨年引き続きした受賞  
では「起きたニュースの  
本質をきちんと読者に届  
ける努力をしている」と  
「論点明示報道」は発展  
途上であるかのような評  
価があったが、ずっと続  
けてきて、それが定着し

てきたと評価されたのだ  
らうと理解している。  
だから、6月4日の夕  
刊でも午前10時過ぎには  
終わって締切りには十分  
な時間だった。取材側も  
整理部も「これはトップ  
だ」と、ごく当たり前の  
感覚で紙面をつくった。

翌日朝刊では社会部が  
「首都圏の介護難民」の  
ニュースを持っていたの  
で、政治部はすでに夕刊  
で行ったので控えめだっ  
たが、社会部側から「違  
憲立法がトップだ」と言  
ってきた。論点明示と価



後追いでなく、論点かと  
届く報道をしていくと  
語る金井政治部長

「コメントターの事  
前打ち合わせはしまの西  
野プロデューサー

番組は1987年10月  
にスタートした。西野  
プロデューサーは、「①大  
事なニュース3本を取り  
上げるカバーストーリー  
②張本勲のスポーツコー  
ナー③1週間コーナー④



「コメントターの事  
前打ち合わせはしまの西  
野プロデューサー

番組は1987年10月  
にスタートした。西野  
プロデューサーは、「①大  
事なニュース3本を取り  
上げるカバーストーリー  
②張本勲のスポーツコー  
ナー③1週間コーナー④



生きている牛は貴重  
データを提供してくれ  
ると語る真並さん

「仕掛け」は大きいほど  
見えにくくなる。メディ  
アが社会で一定の位置を  
占めている以上、出てく  
るニュースは無視できな  
い。悩ましいのだ▼「法  
案成立と引き替えに安倍  
退陣」も囁かれていて  
いう。ごまかされるわけ  
にはいかない。安倍であ  
ろうと、誰であろうと、  
戦争法案を認めるわけ  
はいかない。▼ことは憲  
法が壊され、日本が戦争  
できる国になることだ。

(次面へ続く)

### サンデー モーニング

## 大事なこと愚直に ぶれない姿勢に誇り

(まともS・M)

### 真並さん

## 牛と共に生きる喜び 原発再稼働許せない

(まともS・K)

牛は、当時、3500頭  
いたが、国の政策によっ

て、その半分が安楽死の  
処分に付された。それで  
も今、約500頭の牛が  
生き延びている。

賠償金を拒んでも、牛  
と共に生きる道を選んだ  
人たちの努力は、評価さ  
れてしかるべきだ。

# JCJ受賞者によるスピーチ

それぞれの「ジャーナリズム」を参加者と共有

## 読者が続々情報提供 秘密法の危険、昔も今も



「人生を狂わされてきた方だ、佐竹さんが背中を押した」と語る佐竹さん

「北の果てのローカル記者のローカル記事に光を当てていただき、光榮です」――佐竹直子さんの通る声が会場の感動を呼んだ。連載は「獄中メモは問う・作文教育が罪に問われた時代」として出版されている。

太平洋戦争開戦直前、釧路の尋常小学校で「綴り方(作文)を熱心に教えていた教員たちが特高(特別高等警察)に治安維持法違反容疑で逮捕・拘禁された。その教員の「獄中メモ」を佐竹記者が遺族から入手した。記者の勘で「これ

## 問題だらけのリニア JR東海へ闘志わく

榎田秀樹さん



「環境破壊や強制収用をいじめられたい」と語る榎田さん

この本の出版は、難産でした。原稿の半分ほどは、ある月刊誌の連載がベースになっている。連載中からその月刊誌の発行元から単行本出版が決まっていた、に初版300部を印刷し、後は書店に並ぶだけの状態でした。ところが出版社の上

が、どこでも出版を断られた。しかし、紹介された旬報社の社長に出版依頼したところ、OKが出たのです。マスコミは大スポンサーであるJR東海に配慮してリニア中央新幹線の問題点をほとんど報じていません。ある記者は「何か事件が起れば取材はできます」と言っ

たが、どこでも出版を断られた。しかし、紹介された旬報社の社長に出版依頼したところ、OKが出たのです。マスコミは大スポンサーであるJR東海に配慮してリニア中央新幹線の問題点をほとんど報じていません。ある記者は「何か事件が起れば取材はできます」と言っ

## リレー時評



JCJ代表委員 清水正文

## 中学の歴史・公民の教科書が危ない!

大阪市教育委員会は8月5日、来年度から市立中学校および特別支援学校で使用する歴史と公民の教科書に「育鵬社版」を採択した。この「育鵬社版」の歴史・公民教科書は、歴史学や憲法に携わる人びとをはじめ、多くの父母・市民から問題点が指摘されてきた。

戦争放棄の平和主義と基本的人権の保障を敵視するなど、自民党の改憲案を引き写したかのよう内容になっている。大阪市では今回の採択の会議に参加させる目的で「日本教育再生機構」とつながりの深い教育委員を任命し、今まで

八つあった大阪市内の採択区を一つにするなど、「育鵬社版」採択に向けて着々と準備をしてきたといっても過言ではない。また、教育委員会

## メディア研究と取材 精力的に職能運動

松田浩さん



「JCJ」はナショナルセンターの役割を語る松田さん

研究の先頭を走っている。松田さんは「1950年の放送法制定当時、安倍政権と同様の報道規制条項を放送法第4条に盛り込むとする動きがあったが、憲法21条に反するとして阻止された」史実を明らかにした。その上で松田さんは「安倍政権はシロをクロと言いくるめる論法で、これからも攻撃をかけてくる。安倍首相のNHK乗っ取りや朝日パッシングは、憲法改悪に向けての戦略だ」と警鐘を鳴らす。

松田さんは1953年に日本経済新聞社に入社して以来、半世紀以上をメディア取材に打ち込み、85歳の今もNHK問題の解明など、メディアと市民運動の高揚に着目する。「JCJはなぜ、国民運動を起すべくナショナルセンターとしての役割を果たしていく必要がある」と強調した。(まとめS・K)

(↓前頁から) 牛は放射能汚染された野草を食べる。その影響がどう出てくるのか。牛で観察できる異常の発見は、人間への内部被曝の影響を語る貴重なデータを提供してくれる。それを全て殺処分してしまつたら、研究データすら得られない。苦渋の選択を強いられ、牛の安楽死に同意した牧場主も、いまだに葛藤や悔恨に苦しんでいる。牛魂碑を立てて心の安らぎを求めている。牛が殺されても土に還り、緑が芽吹き、しだれ桜が花を咲かせる。美しい命が息づいている。大地に立つたび、牛と共に生きる喜びを覚え、かつ希望の光を感じる。だが、現地の実際はどうか。除染土の入った袋

# 大野晃の スライムコラム

新国立競技場の超巨額建設計画は安倍首相の独裁的「白紙」宣言で消えたが、東京五輪をどう開催するか、どう将来に生かすかは、いまだに不透明なままにある。

## 霧の晴れない東京五輪

国立競技場の事業主体はサッカーくじの胴元の日本スポーツ振興センターであり、その改修は同

センターが発注するのが筋だが、国が直接、計画して発注することになった。だが超巨額計画の責任が明確にされないのだから、新計画で問題が起きても誰も責任を

が「2兆円くらいはかかる」などと公言し財政負担する国民は蚊帳の外にある。日本オリンピック委員会などスポーツ界もあずかり知らぬ存在だ。

3年足らずで韓国・平昌市で冬季五輪が開催され、東京五輪の2年後には中国・北京市で冬季五輪が開かれることになった。東アジア五輪開催シリーズで、「世界平和は東アジアから」の絶好のチャンスが生まれた。世

界は東アジアの団結と連帯に注目している。リオデジャネイロ五輪開幕まで1年を切ったが日本の五輪ムードは盛り上がりや欠き、平和の希求に不安が広がる。

**止めよう！  
辺野古埋立て  
9・12国会包囲**

日時 9月12日(土) 14時開始

場所 国会周辺

主催 止めよう！ 辺野古埋立て9・12国会包囲実行委員会

http://numanchain.tobiro.jp/

協力 戦争させない・9条壊すな！ 総がかり行動実行委員会

問い合わせ 沖縄・二坪反戦地主会関東ブロック

TEL 090-3910-4140

沖縄意見広告運動 TEL 03-6382-6357

ピースボート TEL 03-3363-7561

## 首相経験者5人

# 「安倍首相への提言」を表明

### マスコミOBの要請に応え、集团的自衛権行使等で直言

JCJとマスコミ9条の会は11日、5人の首相経験者が国会で審議中の戦争法案について、廃案などを求める「安倍首相への提言」を表明したと発表した。提言は同日、安倍首相に送付した。

澤地久枝、原寿雄各氏らマスコミOBの要請に応えたもので、細川護熙、羽田孜、村山富市、鳩山友紀夫、菅直人各氏ら5人の元首相が提言した。

憲法の精神が今日の平和と繁栄の基礎を築いた。特に9条は唯一の被爆国である日本が世界に向けて平和宣言」とした上で「海外派兵を認める集团的自衛権は絶対に認められない」と強調。「安倍総理から日本を守ろう」と訴えた。

村山氏は「歴代自衛党政府も集团的自衛権は憲法が認めないとして、現行憲法は守られてきた」と指摘し、「勝手に憲法解釈を変えて法案を提出した」首相の手法について「立憲主義無視」と批判。安倍首相に対し「国民の声を意思を甘く見てはいけない」と警告し、国民に対しては「主権者である

が、やる気はない」が開催国民の感情では、五輪が成功するわけもない。誰のため何のための開催か、わけのわからない準備状況に陥っている。

5年後に迫った開催に向けて、マスメディアは五輪の原点に帰り、国などを厳しく監視して都民や愛好者とともに開催のあり方を問いただし続ける必要があるだろう。(スポーツジャーナリスト)

反する安保法制を強行しようとする「安倍首相の政治姿勢は「立憲主義に反し、民主主義の総理としての資格はない」として、安倍首相に即刻辞任を求めた。

小泉純一郎氏は事務所を通じて「回答しない」と連絡。中曾根康弘、海部俊樹、森喜朗、福田康夫、麻生太郎、野田佳彦の各氏は無回答だった。

菅氏は「解釈改憲を強行し、明らかに憲法に違反する安保法制を強行しようとする」安倍首相の政治姿勢は「立憲主義に反し、民主主義の総理としての資格はない」として、安倍首相に即刻辞任を求めた。

一方、職場はまだ自由で、仕事中に京橋のJCJ事務所立ち寄りすることもできた。私も「時間内組合活動」で「ジャーナリスト」の原稿を書いたり編集を手伝った。亡くなった後、資金を募り94年12月「信念のジャーナリスト三上正良」という小冊子を作った。娘さんたちに取材し「三上さんの生涯」を書いた。

## 政府、沖縄と「集中的に協議」

### 今こそオール沖縄からオール日本への闘いへ

8月4日、「辺野古ボリング作業停止1カ月のコースが、沖縄だけでなく全国を驚かせた。菅官房長官と翁長雄志沖縄県知事がそれぞれ会見して発表した内容は、8月10日から9月9日までの1カ月間、双方が辺野古基地建設に関するすべての工事や手続き

を停止し、集中協議することだ。やっとここまで来たんだと思った。もちろん、この「歩み寄り」が、戦争法案で支持率を低下させている安倍政権の「埋め立て承認取り消し」に動き出した

ことはいそなかつたからだ。やっとここまで来たんだと思った。もちろん、この「歩み寄り」が、戦争法案で支持率を低下させている安倍政権の「埋め立て承認取り消し」に動き出した

翁長知事への牽制、時間稼ぎであり、戦争法案と辺野古の前者をまずは成立させてから、辺野古に取組むという計算づくのものであることを、私たち県民は見抜いている。しかし、それは沖縄の未来のために辺野古基地を絶対造らせないと

集中協議の第1回は8月12日、県庁で菅官房長官とこの日、米軍ヘリが、うるま市沖で墜落部を殺す」などと反論し、陸上自衛隊員を含む乗組員7人が負傷するという事故が起こった、18日には首相官邸で菅長

外務大臣、山口沖縄担当大臣らと会談が行われたが、あくまでも辺野古に固執する政権側に対して翁長知事は「沖縄を領土としてしか見ていない」

としてしか見ていない。重要だ。8月10日以来作業は行われていないが辺野古・大浦湾でもゲート前でも、1カ月でなく「永遠の停止」政府の断念を求めて抗議行動はいっそうの広がりを見せている。



歴代首相に提言を要請。提供=FmA

羽田氏は「平和的自衛権行使に反対を表明。「違憲の疑いが強い安保法制を成立させる」と、全ての統治は憲法で律せられるという立憲主義は崩壊し、国益を損なう」と主張し、同法案を廃案とするよう求めた。

菅氏は「憲法が認めないとして、現行憲法は守られてきた」と指摘し、「勝手に憲法解釈を変えて法案を提出した」首相の手法について「立憲主義無視」と批判。安倍首相に対し「国民の声を意思を甘く見てはいけない」と警告し、国民に対しては「主権者である

が、やる気はない」が開催国民の感情では、五輪が成功するわけもない。誰のため何のための開催か、わけのわからない準備状況に陥っている。

5年後に迫った開催に向けて、マスメディアは五輪の原点に帰り、国などを厳しく監視して都民や愛好者とともに開催のあり方を問いただし続ける必要があるだろう。(スポーツジャーナリスト)

反する安保法制を強行しようとする「安倍首相の政治姿勢は「立憲主義に反し、民主主義の総理としての資格はない」として、安倍首相に即刻辞任を求めた。

小泉純一郎氏は事務所を通じて「回答しない」と連絡。中曾根康弘、海部俊樹、森喜朗、福田康夫、麻生太郎、野田佳彦の各氏は無回答だった。

菅氏は「解釈改憲を強行し、明らかに憲法に違反する安保法制を強行しようとする」安倍首相の政治姿勢は「立憲主義に反し、民主主義の総理としての資格はない」として、安倍首相に即刻辞任を求めた。

一方、職場はまだ自由で、仕事中に京橋のJCJ事務所立ち寄りすることもできた。私も「時間内組合活動」で「ジャーナリスト」の原稿を書いたり編集を手伝った。亡くなった後、資金を募り94年12月「信念のジャーナリスト三上正良」という小冊子を作った。娘さんたちに取材し「三上さんの生涯」を書いた。

一方、職場はまだ自由で、仕事中に京橋のJCJ事務所立ち寄りすることもできた。私も「時間内組合活動」で「ジャーナリスト」の原稿を書いたり編集を手伝った。亡くなった後、資金を募り94年12月「信念のジャーナリスト三上正良」という小冊子を作った。娘さんたちに取材し「三上さんの生涯」を書いた。

## 手弁当で事務局長15年

丸山重威

文化大革命下の中国の干渉で小林雄一議長らが去った後、1967年8月から15年間、事務局長として組織を支えたのが三上正良さん。

議長も事務局員もいなくなったJCJで、評議員会、幹事会、支部代表者会議などを経て緊急総会が開かれたのは67年2月7日。幹事会の問題提起を受けて活発な討議が

行われ、「再建」への道が開かれた。三上さんは、67年度から82年7月までの15年、事務局長を務めた。

室蘭中学時代から社研の活動で目をつけられ刑務所暮らし。出所後、やと小樽新聞から東京日

日に転じ記者生活。だが「現実には戦争と反動への翼賛記者に甘んじるか沈黙」の時代。戦後、毎日

大変だったのは生活だった。わずかな原稿料と講演で家族を養い、給料もろくにない事務局長を

続けた。

一方、職場はまだ自由で、仕事中に京橋のJCJ事務所立ち寄りすることもできた。私も「時間内組合活動」で「ジャーナリスト」の原稿を書いたり編集を手伝った。

亡くなった後、資金を募り94年12月「信念のジャーナリスト三上正良」という小冊子を作った。娘さんたちに取材し「三上さんの生涯」を書いた。

JCJ  
写真でつづる  
60年

連載

浦島悦子

# 「戦争はどのように始まるか」テーマに講演

## 香川支部「戦争体験を語りつく集い」開く

8・15。香川でこし島大学教授が講演、参加者のトークが続きました。「戦争体験を語りつく集い」です。「戦争はどのように始まるのか」をテーマに饗場和彦さん(徳



83歳のむかし軍国青少年(植田正太郎さん)

講演は「安保法制の問題点もふまえて」90分、安倍政権の危険性を語りました。

「良心派の公明・学会の方々とよびかけ、集団的自衛権に歯止めをかけよう」と努力はしたようだが、今、安倍政権には「その尽力が意味をなさない」。今立ち上がって連立を離脱すれば「その

英断は日本の政治史に深く刻まれるでしょう」と、プログ「饗場和彦の政治コラム」を示しながら述べました。

会場からは「アメリカは戦争によって国家経済が支えられている。そのアメリカの戦争と一緒にやる危険をどう考えるのか」。2002年の防衛省の情勢誌には普通寺の自衛隊がアメリカと共同訓練で大きな成果を上げた」と書いてあった。今、危険なアメリカ、日本はもって進んでいると思

「私は主権在民の独立国家だろうか」と疑問を感じている」といいます。その中身は沖縄の総意が反対している基地建設を強行する、違憲の集団的自衛権を解釈改憲で押し進める、思いやり予算、日米合同委員会などなど。「この道を行くと死文化したとされている。日本を対象にしている『敵国』条項(国連憲章107条)がよみがえ

「安倍政権が目指す安全保障関連法によって、集団的自衛権の行使を可能にすることは何を意味するか。それは日本の若者が、米国と同じように、戦地から遺体



8団体共催の名古屋集会

### 永田浩三氏が講演

#### 名古屋の8・15集会 NHKを鋭く批判

J C J東海など8団体共催の2015・平和を語る八月名古屋集会(8・15集会)が8月15日午後1時30分、名古屋の女性会館ホールで開かれた。

益休みの真ん中だったが、160人を超える市民が参加、準備した資料が足りなくなる盛況だった。

主催者代表あいさつ(J C J東海・大西五郎代表)のあと、武蔵大学教授永田浩三さん(もと益休みの真ん中だった)が講演した。

永田さんはまず、前日発表された「戦後70年安倍談話」のメディア報道に触れ、特にNHKは「談話の問題点に触れず、侵略などのキーワードで講義した。」と批判した。

ドの「存在」を強調する「戦後70年、メディアは戦争を止められるか、NHKと朝日と安倍総理・20年の物語」というタイトルで講演した。

永田さんはさらに最近の住む杉並区の人たちが出した「戦後70年宣言」を紹介。「圧力に屈しない自由なメディア」を応援しようと呼びかけた。

永田さんは最後に自分の住む杉並区の人たちが出した「戦後70年宣言」を紹介。「圧力に屈しない自由なメディア」を応援しようと呼びかけた。

永田さんは最後に自分の住む杉並区の人たちが出した「戦後70年宣言」を紹介。「圧力に屈しない自由なメディア」を応援しようと呼びかけた。

## アメリカからも「9条護れ」の声

8月15日を機にネットサーフィンをしたところ、米国の識者の「日本の平和憲法を護れ」との主張に出会った。アメリカ政府は安倍内閣の違憲解釈による集団的自衛権の法制化を歓迎しているが、9条を評価するアメリカの声を聞き取りたい。

ワシントン・アメリカン大学のピーター・カズニック教授(歴史学)は「日本はアメリカの核の傘から抜け出して、憲法9条がうたう本當の平和主義を取り戻すべ

「安倍政権が目指す安全保障関連法によって、集団的自衛権の行使を可能にすることは何を意味するか。それは日本の若者が、米国と同じように、戦地から遺体

袋に入れられて故郷に帰ってくることもあり得ると言うこと。そんなことが日本で起きてほしくない。」

韓国の慶熙大学のE・パストリッチ教授は8月16日の信濃毎日新聞でこう語った。

教授はさらに「日本が世界のリーダーになるには平和憲法を放棄するのがいいのか? それともこれを護り、活かすのがいいのか?」と問

改編することは可能だとして、陸自は世界中の土地の劣化や森林破壊に対処する世界的な戦界大戦から生まれた最後の理想郷が終焉を迎えることを意味する」と寄稿している。



撮影|坂本正都

### 演劇回り舞台

青年座『外交官』

東京裁判で戦犯とされた外交官たちが語る日本の戦争裏面史

毎年夏になると、日本の戦争に関する演劇が多く上演される。この『外交官』もその一つ。外交官の泥沼にはまり込んでいる外交官の面々。彼らの間で交わされる

葵(横堀悦夫)、東郷茂徳(高松潤)、白鳥敏夫(矢崎文也)の錚々たる外交官の面々。

前にも、彼らは帝国ホテルに設けられた外務省の事務室で(外務省のもの)はすでに空襲で完全に破壊されていた。裁判対策を行うべく集まっていた。しかしいくら話し合ったところで、まだ体験したことのない(戦争犯罪)裁判に対する対策を立てようもない。すべて「陸軍の暴走」に押し付けてしまえ、という乱暴な意見から、自分に責任があると殊勝に首をうなだれる人物まで、喧々譁々の対策会議は果てることがなかった。

しかしその中で次第に明らかになるのは、満州事変から三国同盟を経て、遂にボツダム宣言を受諾するに至るまでの日本の戦争の裏面史である。(7月31日〜8月9日青年座劇場にて上演)

安住邦男

戦争は政府の嘘・秘密から始まる

9月7日(月)午後1時30分〜3時30分

会場 参議院議員会館1階101会議室

提起 「秘密保護法と戦争法」

講演 「秘密保護法下の刑事事件の課題」

資料代 500円

共催 秘密保護法対策弁護団・秘密保護法廃止へ実行委員会

連絡先 日本国民救援会03-5842-5842

戦場ぬ止み 辺野古・高江からの祈り

三上智恵

### 怒りと悔しさに身をふるわせ取材した記録の重さ

「お父さんお母さんが」とっては遠い対岸の火事、オスプレイ反対に疲れた時は私が代わりにやっ

「お父さんお母さんが」とっては遠い対岸の火事、オスプレイ反対に疲れた時は私が代わりにやっ

「お父さんお母さんが」とっては遠い対岸の火事、オスプレイ反対に疲れた時は私が代わりにやっ



んなに怒ってもあんたは謝ってまた来る。変わって

んなに怒ってもあんたは謝ってまた来る。変わって

んなに怒ってもあんたは謝ってまた来る。変わって

次から次と起る出来事、これが市民に對して国がすることか

次から次と起る出来事、これが市民に對して国がすることか

次から次と起る出来事、これが市民に對して国がすることか

この本は映画『戦場ぬ止み』の文字による記録

この本は映画『戦場ぬ止み』の文字による記録

この本は映画『戦場ぬ止み』の文字による記録

### 書評

### 本・BOOK・ほん

(価格は税別です)



「琉球王国」だったのだ。だが1879年、日本政府による「琉球処分」が

「琉球王国」だったのだ。だが1879年、日本政府による「琉球処分」が

「琉球王国」だったのだ。だが1879年、日本政府による「琉球処分」が

沖縄の自己決定権 その歴史的根拠と近未来の展望 編者=琉球新報社・新垣毅

## 琉球処分の不当性を明かし 真の自治への道を探る

かつて琉球は、独立国だったのか日本領だったのか、はたまた清国に属していたのか。沖縄の歴史を振り返るところから

かつて琉球は、独立国だったのか日本領だったのか、はたまた清国に属していたのか。沖縄の歴史を振り返るところから

かつて琉球は、独立国だったのか日本領だったのか、はたまた清国に属していたのか。沖縄の歴史を振り返るところから

沖縄の米軍普天間飛行場返還のパートナーとして日米両政府が強硬に推し進めようとしている名

沖縄の米軍普天間飛行場返還のパートナーとして日米両政府が強硬に推し進めようとしている名

沖縄の米軍普天間飛行場返還のパートナーとして日米両政府が強硬に推し進めようとしている名

国防政策が生んだ沖縄基地マフィア 平井康嗣+野中大樹

## 辺野古新基地建設の利権にむらがる人脈と蠢動を暴く



国防政策が生んだ沖縄基地マフィア

国防政策が生んだ沖縄基地マフィア

国防政策が生んだ沖縄基地マフィア

評論家の佐高信さんから「沖縄に群がるマフィア経営者、土木建設業者、砂利業界団体、元首長、市議会議員、商工会幹部、元市幹部職員、国会議員だ。利権を目指す推進派の暗躍ぶりを実名で報じている。」

評論家の佐高信さんから「沖縄に群がるマフィア経営者、土木建設業者、砂利業界団体、元首長、市議会議員、商工会幹部、元市幹部職員、国会議員だ。利権を目指す推進派の暗躍ぶりを実名で報じている。」

評論家の佐高信さんから「沖縄に群がるマフィア経営者、土木建設業者、砂利業界団体、元首長、市議会議員、商工会幹部、元市幹部職員、国会議員だ。利権を目指す推進派の暗躍ぶりを実名で報じている。」

その原点は、かつて現地で取材した長崎県・諫早湾の「国営諫早湾干拓事業」であった。1997年4月14日、堤防の閉め切り工事現場で目の当たりにした光景をこう伝

その原点は、かつて現地で取材した長崎県・諫早湾の「国営諫早湾干拓事業」であった。1997年4月14日、堤防の閉め切り工事現場で目の当たりにした光景をこう伝

その原点は、かつて現地で取材した長崎県・諫早湾の「国営諫早湾干拓事業」であった。1997年4月14日、堤防の閉め切り工事現場で目の当たりにした光景をこう伝

### 短歌 現代の窓 評小石雅夫

大口 玲子(心の花)

万縁になじみたる日本国憲法九条、九十九条を

万縁になじみたる日本国憲法九条、九十九条を

食卓からアサリが消える日 三輪節生

## 干潟の減少や汽水域の変化で 貴重な味覚が失われる危機

「干潟が乾燥して、『無数の貝の白い墓場』が、曇り空のように広がって頭から離れませんか」

「干潟が乾燥して、『無数の貝の白い墓場』が、曇り空のように広がって頭から離れませんか」

「干潟が乾燥して、『無数の貝の白い墓場』が、曇り空のように広がって頭から離れませんか」



# 映画の鏡

## アートと人間が融けあう光景 『あえかなる部屋 内藤礼と、光たち』

### 水滴が舞う映像世界



この作品の舞台は香川県の小さな島に誕生した豊島美術館。そこにパーマネント作品として創造されたのが現る。「母型」に出会い、その場の持つ力に強く惹かれた中村佑子監督は内藤型である。

この「母型」は自然の中にあり、床からは地下水が湧き出し、それが集まり、泉を作り出している。「母型」に出会い、その場の持つ力に強く惹かれた中村佑子監督は内藤型である。

この「母型」は自然の中にあり、床からは地下水が湧き出し、それが集まり、泉を作り出している。「母型」に出会い、その場の持つ力に強く惹かれた中村佑子監督は内藤型である。

この作品によく出てくる水滴の動き。くっついては離れ、また結びつく。そして最後に泉に合流していく。それをじっと見つめるカメラ。この水滴の動きは人間と人間の関わりを現している。この作品の随所にモンタージュされ、その映像効果があえかなるイメージを作品に与えている。

中村監督は「内藤さん、この作品は、私の人生の中で生まれつつあったこの映画のヴィジョンを消さないで作り続けてほしいと言ってくれました。いま改めて内藤作品を見ると、小さく静かな存在の中の、強靱さや烈しさを、より一層感じられるようになりました」と述べている。

この男性社員は13日の記者会見で、沖縄県護国神社の埋め立て問題について質問した。中村監督は「内藤さん、この作品は、私の人生の中で生まれつつあったこの映画のヴィジョンを消さないで作り続けてほしいと言ってくれました。いま改めて内藤作品を見ると、小さく静かな存在の中の、強靱さや烈しさを、より一層感じられるようになりました」と述べている。

中村監督の代表作はNHKBSプレミアム「幻の東京計画 首都にあり得た3つの夢」(9月より放送)と述べている。

中村監督は「内藤さん、この作品は、私の人生の中で生まれつつあったこの映画のヴィジョンを消さないで作り続けてほしいと言ってくれました。いま改めて内藤作品を見ると、小さく静かな存在の中の、強靱さや烈しさを、より一層感じられるようになりました」と述べている。

# 新聞

## 安倍政権を「べた褒め」するマスコミ

安倍政権を「べた褒め」するマスコミ。読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。しかし、読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。

安倍政権を「べた褒め」するマスコミ。読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。しかし、読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。

読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。しかし、読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。

読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。しかし、読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。

読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。しかし、読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。

# 月間マスコミ批評

戦争法案(安保法制)の強行成立をめぐり、マスコミの報道が、読者の目を眩ませている。読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。

戦争法案(安保法制)の強行成立をめぐり、マスコミの報道が、読者の目を眩ませている。読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。

戦争法案(安保法制)の強行成立をめぐり、マスコミの報道が、読者の目を眩ませている。読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。

戦争法案(安保法制)の強行成立をめぐり、マスコミの報道が、読者の目を眩ませている。読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。

戦争法案(安保法制)の強行成立をめぐり、マスコミの報道が、読者の目を眩ませている。読者は先の大戦への反省を踏まえつつ、新たな日本の針路を明確に示したと前向きに評価する。

# 出版

## 戦争法案強行にうごめく人々の群れ

「世界」9月号で谷口長世氏(『死の産業と商人』)から眺めた安倍閣連法案が興味深い。谷口氏は、オーストリアのチ...

「世界」9月号で谷口長世氏(『死の産業と商人』)から眺めた安倍閣連法案が興味深い。谷口氏は、オーストリアのチ...

「世界」9月号で谷口長世氏(『死の産業と商人』)から眺めた安倍閣連法案が興味深い。谷口氏は、オーストリアのチ...

「世界」9月号で谷口長世氏(『死の産業と商人』)から眺めた安倍閣連法案が興味深い。谷口氏は、オーストリアのチ...

「世界」9月号で谷口長世氏(『死の産業と商人』)から眺めた安倍閣連法案が興味深い。谷口氏は、オーストリアのチ...



中国が統制強化。公正取引委員会は29日、テレビ局側と取引している番組制作会社の4割が、独禁法違反(優越的地位の乱用)に当たる可能性のある行為を受けた。主な拡散ルートであるインターネットの管理の自由を侵害している。

中国が統制強化。公正取引委員会は29日、テレビ局側と取引している番組制作会社の4割が、独禁法違反(優越的地位の乱用)に当たる可能性のある行為を受けた。主な拡散ルートであるインターネットの管理の自由を侵害している。

中国が統制強化。公正取引委員会は29日、テレビ局側と取引している番組制作会社の4割が、独禁法違反(優越的地位の乱用)に当たる可能性のある行為を受けた。主な拡散ルートであるインターネットの管理の自由を侵害している。

中国が統制強化。公正取引委員会は29日、テレビ局側と取引している番組制作会社の4割が、独禁法違反(優越的地位の乱用)に当たる可能性のある行為を受けた。主な拡散ルートであるインターネットの管理の自由を侵害している。



記念講演する大木圭之介氏  
写真：NHKを考える東海の会提供

「二度と戦争のために...」民にもどれほど多大な犠牲を強いたか、日本のジャーナリストの一人として心からの反省と謝罪の言葉を述べるとともに、その反省と謝罪の念をこ

「NHKの偏向報道を批判し、権力のメディア支配」を排して独立した公共放送の実現を求める「NHKを考える東海の会」が7月26日に旗揚げした。

は約1000人が集まった。「放送を語る会」の小滝一志事務局長が東京から駆けつけ、連帯のあいさつをするなど、会場は熱気に包まれた。

後、学習会や講演会などを通じて社会への発信力を強め、NHKなどに働きかけていく。

「NHKが危ない」公共放送とは何か」と題して記念講演した大木圭之介氏。NHKの報道姿勢は、会長の指示によるものではな

く、何となく周辺にそうおもはんばかりのような人たちがいての結果だろう。

また、公共放送の役割については、「放送法にあるように、健全な民主主義」をめざす、つまり多様な意見を示し議論する場を提供することにあり」と強調して、締めくくった。

活動の中心メンバーは順次、支局配転（3年〜6年）、その度に「暫し休刊」を余儀なくされる。

思い起こせば、戦前の日本のメディアは、権力を監視するというジャーナリズムの使命を忘れ、権力に迎合して満州事変に始まる日本の侵略戦争を阻止できなかっただけでなく、国民を戦争に煽り立てるような役割を演じてしまいました。

この日本の15年戦争によって、アジア諸国にどれほどの甚大な被害をもたらしたか、また、日本国のような米国の「理のな

れからの闘いの原動力に変えていく」と決意を新たにしています。

2015年8月15日 日本ジャーナリスト会議

「NHKを考えると、公共放送の役割、独立とは」

「NHKを考えると、公共放送の役割、独立とは」

「NHKを考えると、公共放送の役割、独立とは」

「NHKを考えると、公共放送の役割、独立とは」

「NHKを考えると、公共放送の役割、独立とは」

「NHKを考えると、公共放送の役割、独立とは」

「二度と戦争のために...」民にもどれほど多大な犠牲を強いたか、日本のジャーナリストの一人として心からの反省と謝罪の言葉を述べるとともに、その反省と謝罪の念をこ

「NHKの偏向報道を批判し、権力のメディア支配」を排して独立した公共放送の実現を求める「NHKを考える東海の会」が7月26日に旗揚げした。

は約1000人が集まった。「放送を語る会」の小滝一志事務局長が東京から駆けつけ、連帯のあいさつをするなど、会場は熱気に包まれた。

後、学習会や講演会などを通じて社会への発信力を強め、NHKなどに働きかけていく。

「NHKが危ない」公共放送とは何か」と題して記念講演した大木圭之介氏。NHKの報道姿勢は、会長の指示によるものではな

く、何となく周辺にそうおもはんばかりのような人たちがいての結果だろう。

また、公共放送の役割については、「放送法にあるように、健全な民主主義」をめざす、つまり多様な意見を示し議論する場を提供することにあり」と強調して、締めくくった。

活動の中心メンバーは順次、支局配転（3年〜6年）、その度に「暫し休刊」を余儀なくされる。

「NHKを考えると、公共放送の役割、独立とは」

「NHKを考えると、公共放送の役割、独立とは」

# JCJ声明 戦後70年8月

## JCJ声明

# 戦後70年8月

「二度と戦争のために...」民にもどれほど多大な犠牲を強いたか、日本のジャーナリストの一人として心からの反省と謝罪の言葉を述べるとともに、その反省と謝罪の念をこ

「NHKの偏向報道を批判し、権力のメディア支配」を排して独立した公共放送の実現を求める「NHKを考える東海の会」が7月26日に旗揚げした。

は約1000人が集まった。「放送を語る会」の小滝一志事務局長が東京から駆けつけ、連帯のあいさつをするなど、会場は熱気に包まれた。

後、学習会や講演会などを通じて社会への発信力を強め、NHKなどに働きかけていく。

「NHKが危ない」公共放送とは何か」と題して記念講演した大木圭之介氏。NHKの報道姿勢は、会長の指示によるものではな

く、何となく周辺にそうおもはんばかりのような人たちがいての結果だろう。

また、公共放送の役割については、「放送法にあるように、健全な民主主義」をめざす、つまり多様な意見を示し議論する場を提供することにあり」と強調して、締めくくった。

活動の中心メンバーは順次、支局配転（3年〜6年）、その度に「暫し休刊」を余儀なくされる。

## 被爆の実相を伝える ヒロシマ・ナガサキ写真展

8月4日から8月30日（日）に、日本カメラ財団JCFIフォトサロンで開催の写真展。被爆直後を知っていますか？

田沼武能JPS前会長は「原爆の恐ろしさを知ってもらいたい。戦争はかっこよくない」と訴える。写真展の開催は、

主権の写真保存センターに長崎を撮影した山端庸介のフィルムが寄託されたことが、大きなきっかけになった。

重男と山端庸介の2人だ。被爆翌日の早朝から撮影した陸軍報道部の山端は、10日午前3時に現地へ到着した。「お握りを持つ親子」「乳を飲ます母親」

など山端は百十枚撮影し、68コマ分が寄託された。その内26点が今回展示される。来年にはドイツ国内巡回展も予定されている。



被爆から70年の写真展＝8月6日、東京都千代田区のJCFIフォトサロンで、酒井憲太郎撮影



お握りを持つ親子（左）、乳を飲ます母親（右）。1945年8月10日、長崎市で、山端庸介撮影、山端祥吾蔵、日本写真保存センター寄託

## 日経新聞、FT買収の狙い

### デジタル・グローバル化へ大きな賭け

日経新聞、英フィナンシャルタイムズ「FT」買収——7月23日の主要欧米メディアはそろって驚きを隠さなかった。

でも、由緒ある英経済専門紙を発行する老舗が、極東・日本の一新聞社に買収されるなんて考えられない！ことなのだ。

## 日経支部機関誌115号発行

### 「支部創立60周年記念号」

7月末、ジャーナリズム史専攻の立命館大学准教授・根津朝彦氏が本部事務局を訪れた。元立命館大教授・松田浩氏の紹介で、機関紙の歴史を調査研究しているという。

「云々あるJCJ本部・共同・日経支部などの機関紙の実物を拝見したい」と会議室裏の倉庫にある古文書を4〜5時間かけて調査した。